広報ぬまた Numata 7

2022.7.7
Vol.661

5/28 沼田学園運動会

今月の主な内容

★沼田学園運動会・・・・2
★化石クラウドファンディング・・3
★ふるさと納税・・・・・4
★輝け雪のまち宣言・・・6
★長生クラブとの懇談会・7
★まちレポ・・・・・・・8
★まちの財政状況・・・・12
★沼田警察庁舎から・・・15
★沼田消防から（消報）・16
★生涯学習ゆめっくる・・17
★図書館バックヤード・・18
★ふれあいインフォ・・・19
★まちの話題と人の動き・20

ＪＲに乗り続け隊サポーターを募集しています！
ＪＲ留萌本線を中心に利用促進活動や関連イベント等の情報を発信しています。
■お問合せ　産業創出課　☎３５－２１５５

小中一教育・みんな頑張った!!

沼田町立沼田学園運動会

5月28日（土）沼田学園運動会が、沼田小学校グラウンドで開催されました。

今年のテーマは「同心協力～コロナなんてイチコロだ～」で、昨年と同様、新型コロナウイルス感染症の予防対策として、小･中学生の９学年を３つのグループに分け、時間を短縮し開催されました。

児童・生徒は保護者等が見守る中、徒競走や団体競技で運動会を楽しんでいました。

ガバメントクラウドファンディング

国内屈指の体験フィールド「化石王国ぬまた」を世界に発信したい！

沼田町は、6月から8月31日までの間、全国の博物館などで移動展示していただくためのヌマタネズミイルカ化石のレプリカを作製するためにふるさと納税の仕組みを活用したクラウドファンディングで協賛者を募っています。

4百万年前の化石がよみがえる！

一九八五年にヌマタネズミイルカの化石が発見されてから、貴重な化石を発掘し調査研究を進めてきました。素人だった町民が化石を取り出すクリーニング作業や実物の化石を基にレプリカ作製を手掛ける中で、町民の手によるレプリカづくり集団「レプリカーズ」は熟練した技能集団に成長し、完成度の高いレプリカ作製が可能となりました。その技術の高さをヌマタネズミイルカ化石を通して世界に発信するためにクラウドファンディングに挑戦しています。

精巧に作られたレプリカは研究者の実物標本観察のために博物館の展示として利用されたり、レプリカ作製が可能な施設は海外の学術施設と標本交換が可能になり、国際的な博物館活動を行なう切り札になるなど、実物標本に引けを取らない大きな価値を持ちます。

寄附はふるさと納税サイトの「ふるさとチョイス」で募っており、目標額3百万円でヌマタネズミイルカのレプリカを作製する計画です。

クラウドファンディングの方法

パソコンやスマホで「ふるさとチョイス　沼田町　GCF」と検索していただくか、スマホでは左のQRコードを読み込んでいただきますと直接アクセスできます。

寄附はどなたでもでき、ふるさと納税の税控除を受けることができますが、町内にお住いの方や町内企業については法律により返礼品（リターン）を選択しても受け取ることができませんのでご了承願います。

インターネットがご利用になれない方は、総務財政課までお問合せください。

ふるさと納税専用サイト
『ふるさとチョイス』
https://www.furusato-tax.jp/gct/1731

クラウドファンディングとは？

インターネットを通して自分の活動や夢を発信することで、想いに共感した人や活動を応援したいと思ってくれる人から資金を募る仕組みです。

ふるさと納税で沼田町が元気に!!

日本中の皆さまから沼田町へふるさと納税いただきました金額は下記のとおりです。

寄附金額　1億7,376万8,120円

寄附件数　8,558件

上記のほか、企業版ふるさと納税として、まるごと自然体験プロジェクトにご賛同いただいた企業から１件１００万円のご寄附をいただいております。

寄附額及び件数

当町のふるさと納税金額は、1億7千376万円で、昨年度比8%の伸びとなり、寄附件数も昨年度より1271件増え8558件となりました。過去最高額だった平成30年度の3億3千708万円には届いていませんが、様々な手法で寄附額増を目指しています。

寄附の受け入れ

役場窓口での受付のほか、インターネットのふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」「楽天ふるさと納税」など全5つのポータルサイトで実施しておりますが、更に令和4年度も寄附が本格的に動き出す秋までに寄附サイトを追加しようと考えています。

お礼の品（返礼品）

人気ナンバー1は「雪中米」で、令和3年度は玄米などのバリエーションを増やし新たな寄附者獲得に対応し、更には、石狩沼田駅で販売している普通乗車券である軟券を返礼品に加えたところ、テレビや新聞など各メディアで話題となり、全国の鉄道ファンからの注目を浴び、当初予定していた百セットを超える申し込みで、急遽、数を増やして対応しました。

クラウドファンディング

全国から支援の申し込みがあったコロナで生活が困窮している大学生に雪中米を発送する「全国の大学生を救う。キャンパスライスプロジェクト」を実施したところ、全国から241件の寄附があり、全国200の大学に在籍する2278名に雪中米を贈ることができました。

多くの大学生から町への感謝のメッセージを頂く等、関係人口の創出にも繋がったものと思っており、支援者様各位に感謝申し上げます。

今後更に沼田町への支援者を増やすためには、町民皆さま方から、当町出身の方や関係者に寄附を呼びかけていただくことと、商品開発をして返礼品の数を増やすことが必要だと考えていますので、町民皆さま方のご協力をお願いいたします。

年度別寄附額（過去10年）

年　　度	件　　数	金　　額
平成２４年度	１４件	２３６万３,６２５円
平成２５年度	４５件	７１８万１,２１６円
平成２６年度	１,１２７件	１,５１９万６００円
平成２７年度	１２,３４４件	１億９,４２８万５,２２６円
平成２８年度	１９,６８０件	２億８,５１４万８,８５２円
平成２９年度	１９,６９９件	３億４１万７,６３１円
平成３０年度	２１,８３０件	３億３,７０８万円
令和元年度	９,２５８件	２億９４５万１,０４９円
令和２年度	７,２８７件	１億６,０７５万６,０００円
令和３年度	**８,５５８件**	**１億７,３７６万８,１２０円**

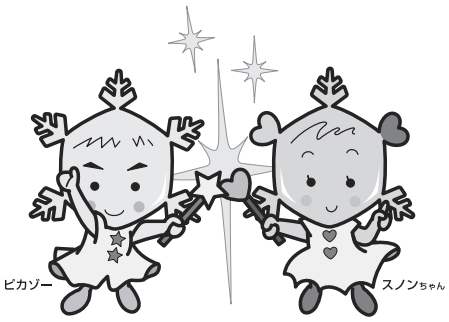
令和３年度ふるさと納税活用状況

●寄附金の充当実績

事　業　名	金　　額	主　な　内　容
1．いつまでも幸せに暮らせるまちづくり事業	34,672,000 円	
医療・福祉・子育て支援事業	34,672,000 円	高齢者住宅の整備に係る経費
2．にぎわいのあるまちづくり事業	28,139,524 円	
幌新地区整備事業	21,352,964 円	幌新地区の自然学校設立やワーケーション施設の整備に係る経費
観光ＰＲ事業	5,133,900 円	夜高あんどん祭りや観光 PR の事業
行政ポイント	1,652,660 円	行政ポイントの付与に要する経費
3．希望を育むまちづくり事業	10,679,391 円	
沼田っ子の夢応援事業	190,891 円	集団生活を通して自立と共生を目指し、社会を逞しく生き抜く子どもに成長することに加え、沼田を愛する心を育てる「沼田っ子の夢応援事業」
高穂スキー場整備事業	10,488,500 円	高穂スキー場のリフト・ロッジの整備に係る経費
4．安心・安全に暮らせるまちづくり【安心・安全・環境】	30,473,416 円	
医療・福祉・子育て支援事業	26,643,097 円	子育て世帯への灯油助成や町外へ通学する高校生への交通費助成、地域医療の確保を図る事業
防犯対策事業	1,791,620 円	防犯カメラの設置
環境美化・保全事業	2,038,699 円	市街地の花壇などに花の植栽を行う事業、雪を利活用する「利雪」への取り組みや研究事業
5．町民とともにつくるまちづくり事業	0 円	
6．ＪＲ留萌本線利用促進に関する事業	4,527,105 円	
ＪＲ留萌本線応援事業	4,527,105 円	イベント等により JR 留萌本線の利用を促進する事業
7．その他目的を達成するために町長が必要と認めた事業	66,246,524 円	
医療・福祉事業	9,437,700 円	町民の健康増進、乳幼児から高校生の医療費助成
児童福祉事業	36,959,010 円	認定こども園、学童保育所及び子育て交流広場の運営費
移住定住応援事業	1,600,894 円	町外からの転入費用助成事業や移住定住ＰＲ事業
ほろしん温泉町民優待事業	9,644,000 円	ほろしん温泉の町民優待事業
しごと・未来応援プロジェクト事業	2,072,120 円	キャリア教育を目的とした事業
令和版沼田町食料貯蔵流通基地策定事業	2,772,000 円	食料貯蔵流通基地構想の計画策定に要する経費
ぬまたライフサポート事業	3,760,800 円	小中校生の子どもを持つ世帯にお米を贈呈するぬまたライフサポート事業
8．キャンパスライスプロジェクト	5,695,000 円	新型コロナウイルス感染症の影響により生活に困窮している大学生を支援ための経費
合　　計	180,432,960 円	

雪と共生するまちづくり

輝け雪のまち宣言から20年



輝け雪のまち
北海道沼田町

今年度は、雪の利活用や雪に親しむ活動などを進め、雪国に生きる者としての誇りを持ちながら、明るく豊かな雪と共生するまちづくりを目指すことを宣言した「輝け雪のまち宣言」から、20周年の記念の年になります。

ここで、あらためて雪の持つ魅力や可能性を再認識するとともに、持続可能な雪と共生するまちづくりを推進し、発信していくために、様々な事業を町利雪技術開発センターと沼田町利雪研究会が中心となり実施します。

今後開催される主な事業予定

・7月15日（金）第15回雪の市民会議 in 沼田
　～16日（土）場所　町民会館ほか
・7月30日（土）サマースノーパーク
　場所　沼田式雪山センター
・8月28日（日）北海道マラソンでの「雪を使ったランナーサポート」
　場所　前田森林公園内サポートエリア（札幌市手稲区）

随時開催予定の事業

・雪氷桜プロジェクト 2022
・真夏の雪宅
・上記の事業以外にも、毎週どこかで夏に雪のある光景が展開されます。

利雪学習特別授業「雪は新しいエネルギー」

沼田町の雪研究の立役者 媚山政良名誉教授の授業が行われました

6月21日（火）沼田小学校（中川浩之校長）6年生を対象に「雪は新しいエネルギー」と題し、利雪学習特別授業が行なわれました。

小学校6年生の国語の教科書に掲載されている「雪は新しいエネルギー」の著者である室蘭工業大学の媚山政良名誉教授を講師に迎え行われた特別授業は、厄介者だった雪を味方にした雪冷熱エネルギーの利用は環境にやさしく、SDGsにつながるという話や、雪1トンで二酸化炭素を30kg抑制できるなど具体的な利雪の効果について授業していただきました。

授業の最後に媚山教授から「雪は好きになりましたか？」という問いかけに児童たちは大きな声で「はい」と返事をして、「雪の利用価値を知ることができて良かったです。」と感謝の言葉を贈りました。

長生クラブとの懇談会

6月3日（金）、横山町長と長生クラブの方々との懇談会を開催しました。4年ぶりの開催となった懇談会には、長生クラブの会員16名が参加し、横山町長への質問や意見が寄せられました。今回はその中で寄せられた主な質問を掲載します。

Q　沼田町の魅力を発信し、人口を増やすためにはどのような取組が必要だと考えますか？

A　人口を増やすためには、働く場所がないといけないと思っています。まずは産業の創出を図ることを第一に考えて、引き続き働く場所を提供できるように取組を進めていきます。

　沼田町の魅力を発信するという面では、グルメの取組について考えていて、ご当地グルメを飲食店などにご協力いただきながら実現したいと思っています。

Q　夜高あんどん祭りの新型コロナウイルス感染症予防対策について

A　3年ぶりの開催ということで新型コロナウイルス感染症の予防対策をしっかり実施したうえで開催し、全国に沼田町を知ってほしいと思っています。具体的な予防対策については、夜高あんどん実行委員会で検討しています。

Q　厚生クリニック跡地の今後の活用方法について

A　今年、住生活基本計画を取りまとめることを考えています。その計画がまとまった段階で町民の皆様へ報告しようと考えています。

Q　太陽光パネルを設置して電気料を安くすることはできないでしょうか？

A　地上設置型の太陽光パネルだと沼田町の積雪に耐え切れず、雪の重みで壊れてしまいます。ですが、沼田厚生クリニックの院長住宅の壁面に設置している太陽光パネルですと冬も発電していて逆に冬の方が発電しているというデータがあるようです。

　このような壁面設置型の太陽光パネルの整備に関しては、大規模な設置は難しいかもしれませんが、今後開発が進み壁面設置太陽光パネルの普及が広がれば、将来考えるアイデアの一つだと思っています。

町民の声をお聞かせ下さい。「出前懇談会」

　町民皆様が『町長』と直接、気軽に町のことや普段の生活のこと、その他どのようなことでもお話合いができる「出前懇談会」の受付をしています。

　町長が少人数の団体や会合等に出向き、様々なご意見を伺ったり、町のことをお話ししたりするものです。

　ご希望がありましたら、お気軽にご相談ください。

■お問合せ　役場総務財政課広報情報グループ　電話 0164-35-2111

まちレポ Town Topics
まちのできごとレポート

5/30 いきいき大学開講式

いきいき生きる

令和４年度いきいき大学が５月３０日（月）開講しました。

開講式には２５名が参加し、吉田教育長から「いきいき大学やサークル活動等に参加し、心身ともに健康を維持してください。」と挨拶があり、その後日帰り旅行など全５回を予定している内容について説明がありました。

今年度１回目となる講演は、地域おこし協力隊の大竹翔太隊員を招き、「自然学校ってどんな学校？」をテーマに自然学校についての講演があり、参加者は興味深く聞いていました。

6/2 教育長杯パークゴルフ大会

優勝を目指して

晴天に恵まれた６月２日（木）、第１１回沼田町教育長杯争奪パークゴルフ大会が町民パークゴルフ場で開催され、町内外から６９名のパークゴルフ愛好者が集まりました。

開会式で吉田教育長から「昨年は新型コロナウイルスの影響で中止となり、２年ぶりの開催です。皆さん、優勝目指して頑張ってください。」と激励があり、その後組ごとに分かれ、白熱した試合が繰り広げられました。

6/4 防災訓練

災害に備えて

災害に備えた防災訓練を６月４日（土）健康福祉総合センターふれあいで、北海道危機対策課、陸上自衛隊第２特科連隊、沼田町赤十字奉仕団などに協力をいただき、約８０名が参加し開催しました。

道危機対策課の河野浩一郎危機対策調整員から防災・災害対応の基本について講演を頂き、その後、段ボールベッドやワンタッチパーテーションを実際に組み立てて、新型コロナウイルス感染症の予防対策を行いながら住民への対応訓練を行いました。

講評で河野危機対策調整員から「災害が起こった時は少ない人数で避難所の設営をしないといけない。全町民で防災に取り組む意識を引き続きもってほしい。」と話されました。

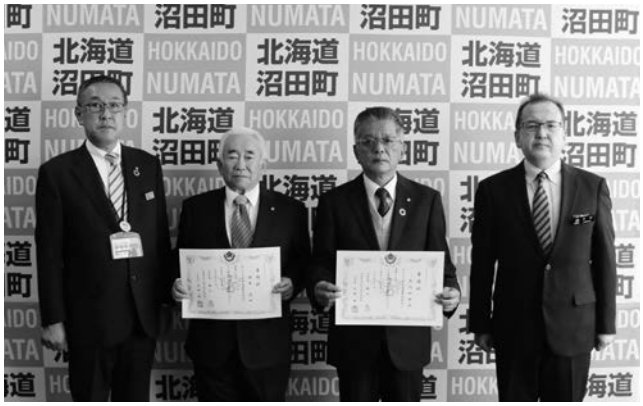
6/8 ＪＲ留萌本線の車窓を堪能
和風園 JR ツアー

養護老人ホーム和風園が、利用者からの要望が多かったＪＲ留萌本線石狩沼田駅から近隣市町村の駅まで電車に乗るＪＲツアーを６月８日（水）から４回に分けて行いました。

６月８日（水）のＪＲツアーに参加した利用者９名は、電車に乗ると「素敵な景色だね。」と会話を楽しんだり、写真を撮ったりするなど車窓から見える田園風景を堪能していました。恵比島駅に到着した後は、ほろしん温泉ほたる館に向かい美味しいランチを食べて、大満足の一日でした。

このＪＲツアーは、恵比島駅だけではなく留萌駅や深川駅にも訪れる予定です。

6/8 自衛隊を身近に
自衛官募集相談員委嘱式



自衛官募集相談員委嘱式が６月８日（水）に行われました。

徳盛透さん（仲町東）と大沼恒雄さん（緑ケ丘）、荒木勉さん（北竜３）の３名が自衛官募集相談員として委嘱を受け、横山町長から「国の生命・財産を守る自衛官は活躍の場が多々あると思います。今後も自衛官の募集対応よろしくお願いします。」と挨拶あり、自衛隊旭川地方協力本部の小川副本部長から「自衛官募集状況は、厳しい状況です。少しでも興味がある人がいれば情報提供お願いします。」と話されました。任期は、令和６年４月１日までの２年間です。

6/10 今年のリノベのテーマは「解放」
北海学園大学セルフリノベ事業提案会

包括連携協定を結んでいる北海学園大学の岡本ゼミに所属する学生７名が、６月１０日（金）セルフリノベーションハウス事業の提案会を行いました。

平成２９年から続いているこの事業は今年、市内第１南にある「移住交流ハウス」をリノベーションする予定で、「移住したい人と地元の人をつなぐ場」をテーマとして、２つのリノベーション案が発表されました。

発表の後、質疑応答を受け、投票を行った結果、部屋の一部が靴のままで作業できるスペースなどを設置し、みんなが集える場所をイメージして作られた「解放」が採用となりました。

９月中旬の完成に向けて、リノベーション内容をさらに検討し作業に取り掛かっていく予定です。

6/12 陸上自衛隊第２音楽隊が演奏指導

マンツーマンで教えてもらいました

旭川市を中心に活動している陸上自衛隊第２音楽隊の隊員７名から、６月１２日（日）沼田中学校吹奏楽部（山崎理優斗部長　８名）が演奏指導を受けました。

これは、昨年１２月に町内で行われた沼田町商工会１００年記念事業で行われた第２音楽隊の演奏に深く感動した顧問の久保志織先生が演奏会当日に、指導を直接依頼し、音楽隊の隊員も快く快諾し実現したものです。

生徒は各パートに分かれ最初は緊張した面持ちで指導を受けていましたが、楽器の基礎練習の方法や楽器の取り扱い方法などを習ううち、隊員に演奏のコツなどを積極的に質問するようになりました。

山崎部長は「今日習った練習を続けていけば、上手になっていくような気がします。」と話し、指導した隊員の鎌田リーダーは「自分の演奏している楽器に興味を持ってもらい、音楽は素晴らしいものだと思ってもらいたい。」と言葉をかけていました。

6/15 使い捨てゴム手袋寄贈を受けました。

ゴム手袋の寄贈に感謝

新型コロナウイルス感染症の予防対策に役立てて欲しいと、天然ゴム製の使い切り手袋、７２０箱を無償で提供してくださったMBTリンク株式会社（奈良県）及び株式会社ウィード（千葉県）を代表してMBT研究所の梅田智広教授（奈良県立医科大学）へ感謝状を贈呈しました。

横山町長は「新型コロナウイルス感染症が流行している中、提供していただいたゴム手袋は丈夫で破れにくく、介護施設などの各施設で活用させていただきました。」と感謝を伝えました。

6/16 小学４年生メロン定植体験

大きくなるのが楽しみ！

沼田小学校（中川浩之校長）４年生の１３名がメロンの定植体験を行いました。

毎年行われているこの授業は、町内の農業女性グループ「農天気の会」（藤村富士子代表）が主催しており、メロンの定植や収穫を行うことで子ども達に農業の良さを知ってもらい優しい心を養ってもらうことを目的としています。

児童たちは実際にビニールハウスの中に入り、指導を受けながらメロンの苗を植えていき、定植後の質問の時間では「どうして赤肉、青肉があるの？」や「何種類くらいあるの？」など積極的に手を挙げて質問していました。

今後、メロンの皿敷きや収穫を体験する予定となっています。

各事業所等のボランティアを受けました

沼田ライオンズクラブ

大型プランターを暮らしの安心センター・和風園など６か所に設置して頂きました。

深川更生保護女性会の会員

就業支援センターの花壇に花を植えて頂きました。

沼田町赤十字奉仕団

旧沼田厚生クリニック前の町道植樹帯に約 800 株の色とりどりの花を植えて頂きました。

沼田中学校生徒会・吹奏楽部

ゆめっくる前の花壇にマリーゴールドやパンジーなどの花を植えて頂きました。

日本緑化中村株式会社

町民パークゴルフ場・暮らしの安心センターにサルビア、マリーゴールド等のプランターを約９０個寄贈頂きました。

富岡産業株式会社（深川市）

沼田町市街から町民野球場付近に向かって、草刈りボランティアをして頂きました。

町の財政状況公表（令和３年度下半期）

この説明書は、みなさんから納めていただく税金や国・道からの補助金がどのように使われているかをお知らせし、町財政の実態と施策にご理解をいただくため年２回定期的に公表を行っているものです。

今回は、一般会計のほか特別会計の令和３年度下半期の財政運営の状況や町税の負担状況、基金及び借入金（町の借金）の状況、また、公営企業の経理状況についてその概要をお知らせします。

なお、今回掲載しました町の財政状況については、役場総務財政課で閲覧することができます。

一般会計

令和３年度下半期（１０月～３月）における主な補正としては、子育て世帯や住民税非課税世帯に対する給付金の計上や町道除雪委託料の増額計上を行いました。

また、町債（町の借金）の繰上償還を実施し、将来の町民負担軽減を図りました。

期間中総額　１億４，７９７万円の減額補正を行い、３月末における予算額は　５４億４，６１８万円となりました。

翌年度への繰越事業費として、住民基本台帳システム整備事業、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金、高穂スキー場ロッジ解体事業、計２，３２２万円を予算調製しております。

●歳　入

区　　分	当初予算額	上半期における補正額	下半期における補正額	予　算　額	構成比（%）
町　　税	3 億 1,255 万円	–	190 万円	3 億 1,445 万円	5.8
地方譲与税	5,661 万円	–	532 万円	6,193 万円	1.1
利子割交付金	40 万円	–	△ 18 万円	22 万円	–
配当割交付金	20 万円	–	94 万円	114 万円	–
株式等譲渡所得割交付金	10 万円	–	129 万円	139 万円	–
地方消費税交付金	5,900 万円	–	2,082 万円	7,982 万円	1.5
ゴルフ場利用税交付金	100 万円	–	10 万円	110 万円	–
環境性能割交付税	600 万円	–	△ 196 万円	404 万円	0.1
国有提供施設等所在市町村助成交付金	1,000 万円	–	△ 12 万円	988 万円	0.2
地方特例交付金	100 万円	–	693 万円	793 万円	0.1
地方交付税	21 億 8,000 万円	△ 8,352 万円	4 億 8,585 万円	25 億 8,233 万円	47.4
交通安全対策特別交付金	10 万円	–	△ 10 万円	–	–
分担金及び負担金	9,460 万円	41 万円	202 万円	9,703 万円	1.8
使用料及び手数料	8,116 万円	–	△ 502 万円	7,614 万円	1.4
国庫支出金	3 億 1,070 万円	1 億 818 万円	1 億 292 万円	5 億 2,180 万円	9.6
道 支 出 金	3 億 3,901 万円	1,280 万円	△ 1,411 万円	3 億 3,770 万円	6.2
財 産 収 入	4,967 万円	3,131 万円	29 万円	8,127 万円	1.5
寄　附　金	3 億 21 万円	200 万円	△ 1 億 2,724 万円	1 億 7,497 万円	3.2
繰　入　金	5 億 7,644 万円	6,649 万円	△ 3 億 3,223 万円	3 億 1,070 万円	5.7
繰　越　金	500 万円	1 億 3,221 万円	–	1 億 3,721 万円	2.5
諸　収　入	1 億 7,205 万円	323 万円	1,829 万円	1 億 9,357 万円	3.6
町　　債	3 億 5320 万円	1 億 1,510 万円	△ 2,040 万円	4 億 4,790 万円	8.2
法人事業税交付金	100 万円	–	266 万円	366 万円	0.1
計	49 億 1,000 万円	3 億 8,821 万円	1 億 4,797 万円	54 億 4,618 万円	100.0

下半期における歳入の予算補正は、地方交付税等一般財源の増額及び歳出における事業費の減額に伴う基金繰入金等特定財源の減額による充当財源整理が主な内容です。

●歳　出

区　　分	当初予算額	上半期における補正額	下半期における補正額	予　算　額	構成比（%）
議　会　費	4,569 万円	−	△ 214 万円	4,355 万円	0.8
総　務　費	7 億 3,778 万円	2,593 万円	△ 1 億 7,144 万円	5 億 9,227 万円	16.6
民　生　費	7 億 2,795 万円	2,392 万円	8,183 万円	8 億 3,370 万円	13.4
衛　生　費	2 億 4,542 万円	8,712 万円	△ 1,950 万円	3 億 1,304 万円	4.6
労　働　費	1 万円	−	−	1 万円	−
農林水産業費	4 億 8,754 万円	322 万円	△ 746 万円	4 億 8,330 万円	11.9
商　工　費	1 億 5,718 万円	3,941 万円	△ 1,592 万円	1 億 8,067 万円	3.8
土　木　費	7 億 3,345 万円	△ 57 万円	△ 189 万円	7 億 3,099 万円	10.7
消　防　費	1 億 6,337 万円	58 万円	△ 1,185 万円	1 億 5,210 万円	7.3
教　育　費	3 億 4,932 万円	1 億 5,457 万円	△ 5,089 万円	4 億 5,300 万円	6.3
公　債　費	3 億 3,429 万円	−	8,543 万円	4 億 1,972 万円	7.5
諸 支 出 金	3 億 1,160 万円	5,403 万円	2 億 5,309 万円	6 億 1,872 万円	5.9
職　員　費	6 億 1,479 万円	−	871 万円	6 億 2,350 万円	11.2
災害復旧費	61 万円	−	−	61 万円	−
予　備　費	100 万円	−	−	100 万円	−
計	49 億 1,000 万円	3 億 8,821 万円	1 億 4,797 万円	54 億 4,618 万円	100.0

下半期における歳出の予算補正は、財政の安定を図るための町債の繰上償還元金の計上、事業完了による不用額の減額補正が主な内容です。

下半期における予算補正の主な内容

（単位：万円）

区分	補正額	補正額の主な内容
議　会　費	△ 214	議員活動費の減
総　務　費	△ 1 億 7,144	沼田町まるごと自然体験プロジェクト事業の減、地域おこし協力隊活動経費の減、ふるさと納税関連経費の減、沼田線運行事業者緊急支援金の計上、スコーレセンター施設管理委託料の増、新型コロナウイルス対策休業支援金の計上、歩いて健康・食べて発見・巡ってにぎわい創出事業の減
民　生　費	8,183	高齢者世帯等福祉灯油助成事業の計上、各種検診・予防接種委託料の減、子育て世帯への臨時特別・特例給付金の計上、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の計上、特別養護老人ホーム特別会計繰出金の増
衛　生　費	△ 1,950	暮らしの安心センター除雪委託料の増、新型コロナウイルスワクチン接種経費の増、北空知衛生センター組合負担金の減
農林水産業費	△ 746	経営継承・発展支援事業補助金の計上、沼田町稲作経営継続対策助成事業補助金の計上、就農支援実習農場運営費の減
商　工　費	△ 1,592	新型コロナウイルス緊急経済対策支援金の増、夜高あんどん継承事業補助金の減
土　木　費	△ 189	町道除雪委託料の増、公共下水道特別会計繰出金の減、ロータリ除雪車購入費の減
消　防　費	△ 1,185	深川地区消防組合負担金の減
教　育　費	△ 5,089	小学校特別支援学級増設工事費の計上、高穂スキー場ロッジ解体工事費の計上、中学校維持管理費の減
公　債　費	8,543	長期債繰上償還元金の計上
諸 支 出 金	2 億 5,309	基金積立（減債基金の計上、振興基金の計上、ふるさとづくり基金の減、社会福祉基金の増、農業振興基金の積立）
職　員　費	871	職員給与費の増
計	1 億 4,797	※それぞれの予算の不用となった額を減額補正しております。

特別会計

特定の事業に使われる経費を一般の歳入歳出と区分して経理する会計です。

会計別	当初予算額	上半期における補正額	下半期における補正額	予算額
養護老人ホーム	2億9,564万円	2,170万円	343万円	3億2,077万円
特別養護老人ホーム	3億7,096万円	581万円	△1,060万円	3億6,617万円
高齢者グループホーム	4,313万円	172万円	−	4,485万円
介護保険	3億7,016万円	3,342万円	△4,584万円	3億5,774万円
国民健康保険	5億857万円	18万円	△3,901万円	4億6,974万円
後期高齢者医療	6,571万円	131万円	278万円	6,980万円
公共下水道	1億8,188万円	−	△1,749万円	1億6,439万円
合計	18億3,605万円	6,414万円	△1億673万円	17億9,346万円

公営企業会計

地方公営企業とは、地方公共団体が地域住民の福祉の増進を目的として経営する企業です。

会計名	区分		当初予算額	上半期における補正額	下半期における補正額	予算額
水道事業会計	収益的	収入	1億4,379万円	−	△5万円	1億4,374万円
		支出	1億4,379万円	−	△5万円	1億4,374万円
	資本的	収入	2,300万円	−	880万円	3,180万円
		支出	3,354万円	13万円	853万円	4,220万円

特別会計と公営企業会計は、税、使用料、負担金、国、道支出金のほか一般会計からの繰入金等で運営がなされ、効率的運用に努めています。

町税の負担状況

人口 2,914人（令和4年3月末）

税区分	予算額（万円）	構成比（%）	町民1人あたり（円）
町民税	1億5,726	50.0	53,967
固定資産税	1億2,128	38.6	41,637
軽自動車税	1,039	3.3	3,565
たばこ税	1,652	5.2	5,669
入湯税	900	2.9	3,089
合計	3億1,445	100.0	107,927

借入金の状況（一般会計）

（単位：万円）

令和2年度末現在高	令和3年度中		令和3年度末
	償還元金見込額	新規借入見込額	現在高見込額
29億6,816	4億1,175	4億4,790	30億431

基金の状況

（令和3年度末現在高見込額）

基金（一般会計） 33億5,181万円	
・財政調整基金	3億4,067万円
・減債基金	7億207万円
・振興基金	10億3,230万円
・ふるさとづくり基金	3億3,292万円
・みどりの景観等保全基金	1,710万円
・自動車学校基金	46万円
・移住定住応援基金	1,951万円
・社会福祉基金	4,774万円
・農業振興基金	1億8,120万円
・農地流動化基金	1,294万円
・企業等誘致推進基金	1億1,518万円
・商工観光振興基金	7,409万円
・スコーレ基金	1,864万円
・青少年スポーツ文化振興基金	274万円
・地域医療確保安定化基金	3億2,840万円
・学校教育振興基金	1億1,834万円
・農業者人材育成基金	376万円
・奨学資金貸付基金	375万円

深川警察署
沼田警察庁舎あんぜん広場 ☎35-3110

令和４年度（第２回）
北海道警察官採用試験に向けた採用募集活動の推進
北海道警察官募集中「やりがいも魅力もでっかいどう」

1　受付期間　令和４年７月１日（金）から同年８月19日（金）まで
2　試験日　第一次試験９月18日（日）、第二次試験10月下旬から11月上旬
3　採用予定人数　200名程度　男性Ａ区分　35名程度、男性Ｂ区分　115名程度
　女性Ａ区分　15名程度、女性Ｂ区分　35名程度
4　受験資格　【学歴】Ａ区分～学校教育法による大学（短期大学を除く。）等を卒業した方
（令和５年３月末日までに卒業見込みの者を含む。）
※高度専門士の称号を取得又は令和５年３月末日までに取得見込みの者を含む
Ｂ区分～Ａ区分以外の者
【年齢】平成２年４月２日から平成17年４月１日までに生まれた者
※受けてみたい方、興味のある方は沼田警察庁舎まで、ご連絡ください。

夏の交通安全運動の実施「確認の　甘さが苦い　事故を呼ぶ」
夏の交通安全運動

1　期間　７月13日（水）から22日（金）の10日間
2　運動重点
⑴　飲酒運転の根絶
⑵　バイク・自転車の交通事故防止
⑶　スピードダウンと全席シートベルト着用
⑷　子供と高齢者の交通事故防止

特殊詐欺にご注意

携帯電話機に『利用料金未納』とのメールが送られてきて、問い合わせの電話番号にかけると高額の料金を早急に支払うよう催促され、「支払わないと差し押さえになる」「訴訟になる」などと不安を煽り、金銭を要求される事案が発生しています。

詐欺電話が来たら、「＃９１１０」まで、ご相談ください。

犯罪の発生状況（令和４年５月末現在）

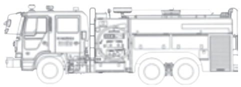
町内における犯罪件数

	侵入盗	非侵入盗	粗暴犯	その他	わいせつ犯	合計
令和４年	1	2	2	1	0	6
令和３年	0	0	0	1	0	1

交通事故の発生状況（令和４年５月末現在）

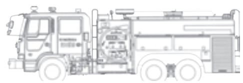
町内における交通事故件数

人身事故		物損事故	
令和４年	0	令和４年	１８
令和３年	0	令和３年	１７



消　報

深川地区消防組合深川消防署
沼田支署予防担当☎35-2050



２９回消防ちびっこ広場　開催のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大により２年間中止になっていました、消防ちびっこ広場を**令和４年８月６日（土）１３時３０分**から沼田町役場駐車場において開催する予定です。

詳しい内容については、８月の消報でお知らせします。皆様のご来場を心からお待ちしています。

風水害の時、あなたが「とるべき行動」は？

集中豪雨や台風などにより全国各地で甚大な被害が発生しています。特に７月から８月にかけて多く発生し、**沼田町でも平成３０年７月上旬、令和元年８月上旬に大雨被害で共成、東予、真布地区に避難勧告（※）が発令され、平成３０年９月には台風２１号による強風被害もありました。**

日頃の備えと、災害時とるべき行動について、以下の点を確認しましょう。

【日頃の備え】

1 ハザードマップで危険個所を確認

・全戸に配布されている「防災のしおり　ハザードマップ」で危険個所や避難所を日頃から確認する。

2 非常時の持ち出し品を準備

・貴重品（現金）、飲料水、食料、懐中電灯、救急セット、衣類（長袖）などを準備する。

3 建物や周囲の点検・整理

・建物の点検とともに、周りにある風に飛ばされそうなものは固定するか屋内に片付けておく。

4 家族の安否確認の方法を決める

・別々の場所にいるときに災害が発生することを想定して、お互いの安否確認方法や集合場所を話し合う。

【災害時とるべき行動】

1 防災気象情報や雨の降り方を確認

・テレビやラジオ、スマートフォンで防災気象情報を随時確認し、避難の準備をする。

2 避難情報が発令されたらすぐに避難

・まずは沼田町からの避難情報を参考にして発令されたらすぐに避難する。

・避難情報発令前に自分自身の身に危険を感じたら事前に安全な場所に避難する。

・避難する時は動きやすい格好で、できるだけ一人では行動せずに家族や近所の人と一緒に行動する。

■市区町村が出す警戒レベル3又は警戒レベル4（避難情報）で必ず避難しましょう
気象庁などから出る河川水位や雨の情報を参考に自主的に早めの避難をしましょう

避難情報等（警戒レベル）				河川水位や雨の情報（警戒レベル相当情報）	防災気象情報（警戒レベル相当情報）	
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等		洪水の情報（河川）	土砂災害の情報（雨）
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報（土砂災害）
～～～＜警戒レベル4までに必ず避難！＞～～～						
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	4相当	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	3相当	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報	2相当	氾濫注意情報	―
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1相当	―	―

※令和３年５月２０日より避難勧告は廃止され、避難指示に変わっています。

沼田町
防火標語

住宅用火災警報器は10年を目安に点検・交換しましょう。

『声かけよう　みんなで確認　防火の輪』

生涯学習

ゆめつくる

コミュニティスクールと学校運営協議会

沼田に住む子どもたち＝「沼田っ子」の成長を町民全員で支えていくための仕組みであるコミュニティスクールと学校運営協議会の活動について、今号と次号の２回で詳しく紹介していこうと思います。

【コミュニティスクール・学校運営協議会の始まり】

沼田町では平成７年より小中一貫教育の検討を行い、平成３０年４月に沼田学園が開園となりました。（合同運動会は平成２７年より開催）その後令和元年６月７日に第１回の学校運営協議会が開催され、それによりコミュニティスクールの取り組みがスタートしました。

※【学校運営協議会】：町民が学校運営や必要な支援に関して協議する場

※【コミュニティスクール】：学校運営協議会を導入した学校のこと

１年目（令和元年度）の取り組み　～学園を知ってもらう１年に～

初年度は会議において「沼田っ子アクションプラン」が提言されました。

これは沼田町や沼田学園が目指す「沼田っ子像」のために学園・家庭・地域がそれぞれの役割においてできる取り組みをわかりやすく整理したもので、現在に至るまで、毎年見直しをしつつ継承しています。

※詳しい内容は沼田町公式ホームページの沼田学園紹介ページに掲載しています。

２年目（令和２年度）の取り組み　～街の雰囲気はあいさつから～

２年目の新たな取り組みとして「あいさつ運動」があります。その中で子ども達同士はもちろん、町民全体があいさつし合えるような環境づくりのため、沼田学園において「ポスター・標語コンクール」を開催することとなりました。委員による投票審査も行われ、金賞作品は町の様々な施設に掲示されることとなりました。

３年目（令和３年度）の取り組み　～清掃を通した町民の共同～

３年目は新たな取り組みとして「グラウンド美化一斉運動」を行いました。これは沼田っ子が普段学んでいる沼田学園の両校舎のグラウンドに生えた雑草を取り除き、運動会等のイベントを行いやすくすることや町民と学園の関係をより密接にすることが目的となっています。当日は関係者のみならず、たくさんの町民の方にご参加いただき、沼田っ子の成長に対する関心の高さを改めて証明する結果となりました。

お問い合わせ…沼田町教育委員会　（電話３５－２１３２）

○教育委員会「ブログ」随時更新中○　URL: https://blog.canpan.info/numakyoui/

図書館バックヤード　『蔵書点検が終わりました』

沼田町図書館では毎年５月に蔵書点検を行っています。

蔵書点検というのは、図書館にあるすべての資料と図書館のデータベースの情報があっているか確認する点検作業のことです。沼田町図書館は約６万冊（映像資料や雑誌も含みます）の資料があり、蔵書点検ではそのすべての資料のバーコードをひとつひとつ読み込んでデータ突合します。この作業をしておかないと行方不明になっている資料や棚違いの本があっても気付けずに利用者のみなさんにご不便をかけてしまうことになります。こうしたことを減らすためにも蔵書点検は図書館の重要な仕事のひとつです。

蔵書点検の期間中は図書館職員・教育委員会教育課職員全員で点検を行っています。小型のバーコードリーダーを使い資料に貼ってあるバーコードを読み取る作業は簡単そうに見えますが、手首をひねったり立ったりしゃがんだりを繰り返すので意外と重労働です。

点検終了後は行方不明になった資料を探したり、資料や棚の整理を行ったり、休館中返却された本の返却処理などをしています。蔵書点検が終わった後、いつも通りの図書館に見えるかもしれませんが、実は色々な作業が行われているのです。

新刊図書

«一般書»

カムカムマリコ	林　真理子
悪の包囲	堂場　瞬一
時が止まった部屋	小島　美羽
さよならに反する現象	乙一
北海道の教科書	JTB ﾊﾟﾌﾞﾘｯｼﾝｸﾞ
東大女子という生き方	秋山　千佳

«児童書»

動物の仕事をするには？	さがわゆめこ
もっとすごすぎる天気の図鑑	荒木　健太郎
未来を変えるレストラン	小林　深雪
みんなはアイスをなめている	安田　夏菜
ぼくらは少年鑑定団！	くすのきしげのり
たんぽぽのちいさいたねこちゃん	なかや　みわ

新刊図書これがおすすめ!!

『おはなしＳＤＧｓ
未来のハッピースクール計画』
著者：井上　林子

ＳＤＧｓとは国連が 2015 年に定めた 2030 年までに達成を決めた持続可能な開発目標 17 のことです。

紹介する本はシリーズになっていて、ＳＤＧｓを子どもでもわかりやすく理解できるよう物語になっています。今回紹介する本の目標はＳＤＧｓの教育に関する部分。勉強ぎらいの６年生のみくるは、友だちのミキちゃんに誘われ夢の学校のデザインをすることになります。どういう学校なら、みんな楽しく勉強できるのでしょうか。学校の朝の読書にもぴったりの一冊です。

家から図書館の本を検索しよう

図書館にある本をインターネットで検索できます。検索は、下記の URL か QR コードからどうぞ。
http://opac-numata.lib-wa.net/web_opac/simple_search.php

後期高齢者医療制度のお知らせ
～令和４年度の保険料について～

■令和４年度の保険料につきましては、７月中に個別にお知らせします。

«保険料の計算方法»

均等割 【１人当たり保険料】 **５１，８９２円**	＋	所得割 【本人の所得に応じた額】 （令和３年中の所得－最大 43 万円） **×１０．９８％**	＝	１年間の保険料 【限度額６６万円】 （100 円未満切捨）

○　１年間の保険料の上限額は、令和４年度は６６万円です。

○　年度の途中で加入したときは、加入した月からの月割で計算します。

※　「所得」とは、前年の「収入」から必要経費（公的年金等控除や給与所得控除額など）を引いたものです。

※　前年の所得金額により、43 万円の控除額が異なる場合があります

◆ 保険料の軽減

«均等割の軽減（年額）»

○　軽減は被保険者と世帯主の所得の合計で判定します。

○　被保険者ではない世帯主の所得も判定の対象となります。

○　昭和３２年１月１日以前に生まれた方の公的年金等に係る所得については、さらに１５万円を引いた額で判定します。

対象者の所得要件 （世帯主及び世帯の被保険者全員の軽減判定の所得額）	均等割りの軽減割合 令和４年度
４３万円＋１０万円×（給与所得者等の数 - １）	７割
４３万円＋（２８万５千円×世帯の被保険者数） ＋１０万円×（給与所得者数の数 - １）	５割
４３万円＋（５２万円×世帯の被保険者の数） ＋１０万円×（給与所得者数の数 - １）	２割

※保険料の詳しい計算方法については、個別に郵送する納入通知書をご覧ください。

◆お問合せ先　保健福祉課保険グループ　電話３５－２１２０

表彰

堀裕昭氏に北海道市町村選挙管理委員会連合会から表彰

平成２８年から沼田町選挙管理委員会の委員長としてご尽力頂いている堀裕昭さんが適正な選挙の管理執行と公正な選挙啓発に寄与した功績が称され、北海道市町村選挙管理委員会連合会から表彰を受けました。

横山町長は「適正かつ厳格な選挙管理の執行に感謝しています。今年は参議院議員選挙も行われることから、改めて適正な選挙事務の対応をよろしくお願いします。」と感謝し、堀委員長からは「これからも適正な選挙管理に努めていきます。」と話されました。

6月1日着任 地域おこし協力隊

池田（いけだ） 隼人（はやと）さん

兵庫県明石市出身のアウトドア派で釣りやウインタースポーツが大好きな池田さんは、産業創出課所属のグルメ開発支援員として活動をしています。

今後は、誰もが沼田と言えば「これ！」と思っていただけるようなグルメメニューの開発をして参ります。

役場の各課へのお電話は、直通番号が便利です

役場の各課への電話は、代表番号の３５－２１１１でお繋ぎできますが、下記番号におかけになりますと直通で各担当課が対応いたしますのでご利用ください。

■総務財政課	３５－２１１１	■住民生活課	３５－２１１５	■保健福祉課	３５－２１２０
■産業創出課	３５－２１５５	■農業推進課	３５－２１１４	■農業委員会	３５－２１１４
■建設課	３５－２１１６	■教育委員会	３５－２１３２	■議会事務局	３５－２１１７
■出納室	３５－２１４５	■沼田消防支署	３５－２０５０		

人の動き

（令和４年６月３０日現在）

人　口	２，９２２人（前月比	△　２人）
男　性	１，３９４人（前月比	１人）
女　性	１，５２８人（前月比	△　３人）
世帯数	１，４６５世帯（前月比	１世帯）

■総人口増減内訳

増加）転入：　３人　出生：　１人

減少）転出：　３人　死亡：　３人

交通事故死ゼロ

（令和４年６月30日現在）

３，６３０日継続中 !!

うぶごえ

出生児	誕生月日	両親の名前
大江　玖虎くん	6月6日	清和さん・智子さん

おくやみ

氏名	死亡月日	年齢	住所
横山　源一　さん（男）	5月31日	73歳	南町
横山　忠男　さん（男）	6月8日	84歳	幌比里

感謝

企業版ふるさと納税を頂きました

西町に北海道沼田工場を開設したタスマン株式会社多田宏社長から、自然体験プロジェクトに対し百万円の寄附をいただきました。

■発行者　北海道雨竜郡沼田町長　横山　茂　■編集　総務財政課広報情報グループ
〒078-2202　北海道雨竜郡沼田町南1条3丁目6番53号
■TEL：0164-35-2111　■ホームページ：https://www.town.numata.hokkaido.jp/

この広報誌は再生紙と大豆インクを利用しています。